

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 2020年12月21日

**【四半期会計期間】** 第25期第3四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

**【会社名】** 株式会社エムティーアイ

**【英訳名】** MTI Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 前 多 俊 宏

**【本店の所在の場所】** 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

**【電話番号】** 03(5333)6323

**【事務連絡者氏名】** 上席執行役員 コーポレート・サポート本部 経理・総務統括部長 清 水 智 雄

**【最寄りの連絡場所】** 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

**【電話番号】** 03(5333)6838

**【事務連絡者氏名】** 上席執行役員 コーポレート・サポート本部 経理・総務統括部長 清 水 智 雄

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2020年8月12日に提出いたしました第25期第3四半期（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものです。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

##### 2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

###### (1) 経営成績等の状況の概要

###### 業績の状況

#### 第4 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

###### (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

###### 四半期連結損益計算書

###### 第3四半期連結累計期間

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_を付して表示しています。

## 第1【企業の概況】

### 1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第24期 第3四半期 連結累計期間	第25期 第3四半期 連結累計期間	第24期
会計期間	自 2018年10月1日 至 2019年6月30日	自 2019年10月1日 至 2020年6月30日	自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高 (千円)	20,427,889	19,452,310	27,112,593
経常利益 (千円)	2,951,111	1,961,278	3,134,277
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	2,146,232	1,780,579	1,508,212
四半期包括利益または包括利益 (千円)	2,342,227	1,425,713	1,611,743
純資産額 (千円)	22,661,378	22,843,131	21,794,328
総資産額 (千円)	28,003,364	31,691,512	27,479,393
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	39.24	32.58	27.59
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	39.20	32.58	27.56
自己資本比率 (%)	74.2	64.4	72.3

(省略)

(訂正後)

回次	第24期 第3四半期 連結累計期間	第25期 第3四半期 連結累計期間	第24期
会計期間	自 2018年10月1日 至 2019年6月30日	自 2019年10月1日 至 2020年6月30日	自 2018年10月1日 至 2019年9月30日
売上高 (千円)	20,427,889	19,492,810	27,112,593
経常利益 (千円)	2,951,111	1,961,278	3,134,277
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	2,146,232	1,780,579	1,508,212
四半期包括利益または包括利益 (千円)	2,342,227	1,425,713	1,611,743
純資産額 (千円)	22,661,378	22,843,131	21,794,328
総資産額 (千円)	28,003,364	31,691,512	27,479,393
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	39.24	32.58	27.59
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	39.20	32.58	27.56
自己資本比率 (%)	74.2	64.4	72.3

(省略)

## 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 経営成績等の状況の概要

#### 業績の状況

#### (訂正前)

当社グループの当四半期における事業環境は、大手携帯キャリアに通信料金と端末代金の分離を義務付けられたこと（通端分離）、新型コロナウイルス感染拡大防止策に伴い全国の携帯ショップが営業時間短縮を実施したこと等により、スマートフォン有料会員の入会は低調に推移しました。一方、同拡大防止策に伴う外出自粛等の影響により「巣ごもり需要」の一つとしてデジタルコンテンツへの需要が高まりました。コミック配信事業者向けにオリジナルコミック作品を提供している事業については、「巣ごもり需要」の恩恵を受け順調に売上高を拡大させることができました。

売上高については、音楽配信サイト『musico』等の事業譲受けによる効果やオリジナルコミック作品提供事業の売上高拡大がありました。2020年6月末のスマートフォン有料会員数は380万人（2019年9月末比12万人減）となり、全体有料会員数が467万人（同12万人減）と前年同期と比べて減少した結果、19,452百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

売上総利益については、売上高の減収を主因に14,136百万円（同7.4%減）となりました。

営業利益については、音楽配信サイト『musico』等の事業譲受けによる効果や通端分離等の影響によるスマートフォン有料会員の入会低調に伴い前年同期と比べ広告宣伝費を大幅に抑制することができましたが、売上総利益の減益を主因に2,017百万円（同10.9%減）となりました。

経常利益については、営業利益の減益に加え、前年同期には株式会社昭文社（2020年4月1日付で株式会社昭文社ホールディングスに社名変更）の持分法適用関連会社化に伴う負ののれん益発生等により持分法による投資利益を計上したことによるかさ上げ効果があったため、1,961百万円（同33.5%減）と大幅な減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、クラウドキャスト株式会社を連結子会社化したことに伴う段階取得に係る差益および投資有価証券売却益による特別利益694百万円を計上しましたが、経常利益の減益を主因に1,780百万円（同17.0%減）となりました。

#### (訂正後)

当社グループの当四半期における事業環境は、大手携帯キャリアに通信料金と端末代金の分離を義務付けられたこと（通端分離）、新型コロナウイルス感染拡大防止策に伴い全国の携帯ショップが営業時間短縮を実施したこと等により、スマートフォン有料会員の入会は低調に推移しました。一方、同拡大防止策に伴う外出自粛等の影響により「巣ごもり需要」の一つとしてデジタルコンテンツへの需要が高まりました。コミック配信事業者向けにオリジナルコミック作品を提供している事業については、「巣ごもり需要」の恩恵を受け順調に売上高を拡大させることができました。

売上高については、音楽配信サイト『musico』等の事業譲受けによる効果やオリジナルコミック作品提供事業の売上高拡大がありました。2020年6月末のスマートフォン有料会員数は380万人（2019年9月末比12万人減）となり、全体有料会員数が467万人（同12万人減）と前年同期と比べて減少した結果、19,492百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

売上総利益については、売上高の減収を主因に14,177百万円（同7.1%減）となりました。

営業利益については、音楽配信サイト『musico』等の事業譲受けによる効果や通端分離等の影響によるスマートフォン有料会員の入会低調に伴い前年同期と比べ広告宣伝費を大幅に抑制することができましたが、売上総利益の減益を主因に2,017百万円（同10.9%減）となりました。

経常利益については、営業利益の減益に加え、前年同期には株式会社昭文社（2020年4月1日付で株式会社昭文社ホールディングスに社名変更）の持分法適用関連会社化に伴う負ののれん益発生等により持分法による投資利益を計上したことによるかさ上げ効果があったため、1,961百万円（同33.5%減）と大幅な減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、クラウドキャスト株式会社を連結子会社化したことに伴う段階取得に係る差益および投資有価証券売却益による特別利益694百万円を計上しましたが、経常利益の減益を主因に1,780百万円（同17.0%減）となりました。

## 第4 【経理の状況】

### 1 【四半期連結財務諸表】

#### (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

##### 【四半期連結損益計算書】

##### 【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	20,427,889	19,452,310
売上原価	5,168,020	5,315,484
売上総利益	15,259,869	14,136,825
販売費及び一般管理費	12,994,840	12,119,241
営業利益	2,265,028	2,017,583
(省略)		

(訂正後)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上高	20,427,889	19,492,810
売上原価	5,168,020	5,315,484
売上総利益	15,259,869	14,177,325
販売費及び一般管理費	12,994,840	12,159,741
営業利益	2,265,028	2,017,583
(省略)		